

読み継がれる絵本を目指して こぐま社の絵本作りについて

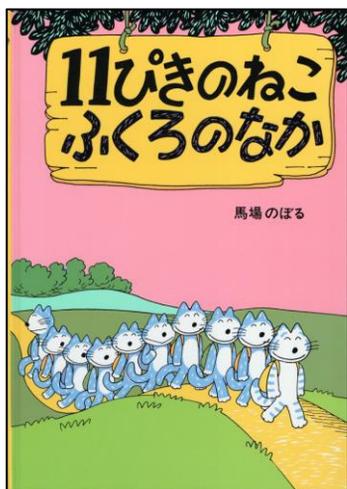
「こぐまちゃんえほん」「11ぴきのねこ」

シリーズを中心に

「子どもはどんなふう絵本を楽しむのだろう」
「絵がお話を語る絵本を作りたい」そんなことを考えて絵本を作っていた
関谷裕子さん（元こぐま社編集長）にお話をうかがいます。



『こぐまちゃんとうぶつえん』
わかやまけん・絵
森比左志・文 わだよしおみ・文
こぐま社



『11ぴきのねこふうろのなか』
馬場のぼる・作 こぐま社



『ととけっこうよがあげた』
こばやしえみこ・案
ましませつこ・絵 こぐま社

一講師紹介一

関谷 裕子（せきや ゆうこ）

1956年東京生まれ。1979年こぐま社に入社。絵本編集者となる。西巻茅子氏、馬場のぼる氏の絵本をはじめ数々の編集を担当。2021年まで編集長を務める。

日時 令和7年 2月 12日（水）

10:00～12:00

場所 中央図書館3階「ぎんが」

講師 関谷 裕子氏（元こぐま社編集長）

対象 絵本に興味のある方

定員 先着40名

申込 1/11（土）～1/31（金）
オンライン手続きにて

申し込みはこちらから



主催 世田谷区立中央図書館

☎03-3429-1811